

# 先輩職員の声

高度救助隊 隊長  
勝浦 消防司令補(平成13年度採用)



私が高度救助隊長になるまで

私は平成13年に埼玉県消防学校初任教育課程で消防士の基礎を学び、卒業後、数年間は消防隊として勤務していましたが、災害現場で救助隊の人命救助最優先での活動、一糸乱れぬチームワーク、救助隊員それぞれのスキルの高さを目の当たりにしました。その活動から救助隊に憧れ、いつか私も救助隊で活動したいと強く思いました。

数年後、希望通り救助隊に配属となりましたが、救助隊は知識・技術はもちろん、体力も必要不可欠で、正直、自分が予想していたよりも遥かにきつい印象を受けました。いかなる災害にも立ち向かう強い部隊になるためには、それだけ訓練が必要であり、その訓練には終わりがありません。私は不器用な方ですから、必死に勉強し、がむしゃらに訓練したのを覚えています。

今年度の4月からは、高度救助隊長を仰せつかりましたが、災害や事故は多様化し、劇的に変化しています。その変化に対応し、1人でも多くの人命を救うため、これからも変わらず努力し続け、日本一の隊長を目指します。

## 高度救助隊の紹介

高度救助隊は災害や事故の多様化及び大規模化、住民ニーズの多様化等の変化に的確に対応するための部隊です。更に管内の災害はもとより、他都市で発生した大規模な災害に対しても、迅速かつ的確な救助活動を実施するため、特殊な資機材等を備えています。

また、本隊は埼玉県特別機動援助隊や埼玉県緊急消防援助隊に登録しており、草加八潮管内だけではなく、災害によっては埼玉県内や全国へ出動し、活動することもあります。

## 救助隊を目指す方へ

救助隊は人命救助専門部隊であり、救助するための資機材は重量があるものが多く、パワーが求められます。また、絶対に諦めないという精神力も必要です。

**『この道遠く陰しくて 歩めど極め果てもなし』**

救助隊の任務は重責ですが、だからこそやりがいがあるのも事実です。人命救助最前線で活動したいという気持ちがある方は是非救助隊を目指して下さい。



## 救急隊 救急救命士

### 藤本 消防副士長（平成23年度採用）



#### 現在の仕事紹介

私は消防隊や救助隊の業務を経験し、平成27年度から救急隊、令和元年度から救急救命士として勤務しています。

救急隊の主な業務は、怪我や病気をされた方（傷病者といいます）を容態変化なく、迅速に医療機関へ搬送することです。心肺停止状態などの重篤な傷病者に対しては、救急救命士による薬剤投与や器具を用いた気道確保を実施します。

また、市民の方への心肺蘇生法や応急手当の普及も大きな業務のひとつです。現場に居合わせた方が、救急隊よりも早く心肺蘇生法を実施することにより、救命率の向上が期待されます。そのため、講習会などを開催し、一人でも多くの方に心肺蘇生法が普及できるよう努めています。

#### この仕事の魅力

救急隊のみならず、消防としての仕事の魅力・やりがいは、助けを求めている方のもとへ迅速に向かい、手を差し伸べられることであると、私は考えています。一刻を争う判断を求められる現場へ赴き、隊全体で知識・技術を駆使して重篤な傷病者を救命できた時、救急隊としての誇りを感じます。また、常に緊張感を持って活動することは「大変だな」と感じることもありますが、それ以上に、傷病者や家族の方から「ありがとう」や「安心した」などのお言葉を頂いた時は、救急隊としての仕事のやりがいを感じます。

緊迫した場面でも正しい処置や判断をするためには、日々の努力を欠かすことはできません。私自身も、救急救命士として常に自己研鑽し、市民の方々に寄り添った活動をしていきたいと思っています。

## 消防隊

### 梶原 消防副士長（平成29年度採用）



#### 現在の仕事紹介

私は幼いころから人命救助の職業に憧れ、なかでも身近に感じられた消防士を目指していました。ですが、試験を受けたものの現実には厳しく、一度は諦めて民間企業で2年間働いていました。しかし、どうしても夢を諦めることができず、再度チャレンジをして、念願の消防士になることができました。消防士と一言で言ってもその業務は様々で、火災現場はもちろんですが、救急現場や救助現場、自然災害にも出動します。また、住民の方々に対する消防訓練指導や予防広報などを通して防災意識の向上を図ることも私たちの仕事です。

現在の私の主な業務はポンプ車の機関員です。現場に急行し、迅速に活動・放水するために高度な技術や知識が必要となります。そのために、日々精進しています。

#### この仕事の魅力

消防の業務は多くの知識、技術が求められるため、勉強不足を痛感する毎日です。そして、災害現場でやり直しはできません。もし、現場でミスをすれば救える命が救えなくなり、自分や仲間の命を危険にさらしてしまいます。ですが、訓練で培ったものを現場で活かすことができ、達成感や充実感を得たときは、この仕事を選んで本当に良かったと思います。

何より、消防士になりたいという幼いころからの夢を実現することができた喜びや、やりがいは計り知れません。いつか、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 予防課

### 田山 消防副士長（平成27年度採用）



#### 現在の仕事紹介

私は、平成29年4月より予防課職員として予防業務に従事しています。予防業務とは文字通り火災を予め防ぐことを目的としています。市民の尊い生命、身体及び財産を守るため、万が一火災が発生しても、被害を最小限に抑えられる建物づくりを目指しています。現在の仕事内容は、建物の建築に関わる消防用設備の事前相談や、法令通りに設置されているかを図面上で審査をします。また、建物が完成した後、図面通りに消防用設備が設置され、正常に作動するかを検査しています。消防用設備を設置することで、火災が発生した際に、いち早く住民が消火活動を実施し、迅速に避難できるようしています。さらに、消防隊員が消火活動をしやすいよう、適切に設置されるよう指導しています。

#### この仕事の魅力

予防業務は決して表舞台に出る仕事内容ではありませんが、市民を火災の脅威から未然に防ぐことができる仕事です。仮に火災が発生してしまった場合には、自ら消火活動を行えるよう適切に消防用設備を設置し、また、避難時間を確保できるよう延焼しにくい建物となるよう審査、検査を実施します。理想は火災のない街づくりです。しかし、予期せぬ火災に際し、少しでも被害が軽減できるよう日々の業務に取り組んでいます。

私たちの予防業務が、市民の何気ない日常を守ることにやりがいを感じ、誇りを持って業務に取り組んでいます。予防という側面から安心安全な建物づくり、ひいては安心安全な街づくりを目指しています。

## 消防隊

### 小宮 消防副士長（平成28年度採用）



#### 現在の仕事紹介

私は、草加八潮消防組合が発足した平成28年度に採用されました。1、2年目は消防隊の隊員として活動していましたが、3年目に大型免許を取得し、機関員になるための試験を受けました。現在はタンク車の機関員として勤務しています。機関員は火災発生時に緊急走行するだけでなく、現場に到着してから隊員が持つ筒先に水を送らなければなりません。1分1秒でも早く現場に到着し、水を送れるように、日々訓練に励んでいます。

また、災害がない時は、管内地理水利の把握や、学校や保育園に出向し、消火器の使い方や防災の指導も行っています。

#### この仕事の魅力

私たちの仕事は「命にかかわる現場」に出動します。辛く厳しい現場が待っていますが、助けを求める人たちに手を差し伸べることができます。誇りと責任を持つことができ、やりがいがある仕事だと実感しています。

どの職業においても仕事に対しての使命感、責任感を持って業務に励むことが社会人として重要だと思います。それに加え、消防官には強い精神力が必要です。恐れず一步を踏み出してみてください。そして、共に最前線で活躍できる日を待っています。